

## 夢、私たちに。

# わたしのひとこと



### 白馬大雪渓ルート偵察

飯森 松本 正信

日本三大雪渓、万年雪を保ち夏は天然の冷蔵庫。白馬大雪渓は降雪量や雨量、風、日射の強弱によって千差万別に融雪が進む速さも毎年変わりつつある。

昨年大雪渓は早くから至る所にクレバスの大きな割れ目が出来、今年大雪渓はどうなるものかと心配したが、開山祭では例年よりも積雪量が大変多く、6月～8月は落石事故も無く夏山が終了。

9/27秋道の登山道整備とルート偵察では、3号雪渓下部のクレバスが大きな口をあけていた以外は、上部砂山の取り付きまでの雪渓はクレバスの亀裂は無く、秋山スキーが出来るほどのきれいな雪渓を保ち一安心。また砂山中間地点には、スイスのマッターホルンに似た大きな岩石があり、大雪渓の一つのシンボルになるかと思ひ下山。

白馬尻付近は紅葉の真っ只中。華やかだった夏の山から静寂な秋の山へと足を運んでみませんか。



### 「なから」からの脱皮を

めいてつ 奈良 安晃

ちょっと辛口の意見をひとつ。私が白馬村に移住してきて18年目になりますが、いつも感じるのは、この村は「活気がないな」ということです。それはなぜでしょうか。

一年半ほど前に、村の若い職員が「この村はなからだからね」と言うのを聞きました。「なから?」。早速調べてみると「だいたい」ということのように、これは「ほどほどに」にも通じるように思います。

「これだ!」。「なから」は人づきあいには必要な心使いだと思いますが、行政や議会では活力につながりません。行政は「最大のサービス産業」です。「なから」ではなく、去年より今年、今年より来年と、村民や観光客へのサービス向上に積極的に取り組んで欲しいものです。また、議会においても「なから」ではなく、積極的な審議と提案、そして行政の確実なチェックをお願いします。



### 白馬駅前活性化

落倉 田中 瑞人

白馬村に移り住み7年が経ち、現在は落倉と白馬町で二拠点生活を始めました。

白馬の豊かで厳しい自然の中で多彩な人に囲まれ、妻と3人の子供+ワンコと日々格闘中の毎日です。この素晴らしい白馬村を次の世代(子供達)が実感して感謝できるように繋げて行きたいです。

観光業でまずは白馬の顔、玄関口の白馬駅前の活性化!電線類の地中化、空き店舗の活用、駅前駐車場設備は必須です。

駅周りを中心に1年を通して、たくさんのお客様に訪れて頂けるように、私なりに行動し発信し続けて行き、少しでも多くの村民の方とコミュニケーション(対話)をし、尊重し合い、より良い村になる活動をして行きたい、そんな思いでいます。

さて、そろそろ冬支度しないと…

## あ と が き

9月議会の直前と最中に、北朝鮮の弾道ミサイルによって、Jアラートが鳴り響き、聴き慣れない音調に不安感を掻き立てられました。

一方のアメリカトランプ大統領。北朝鮮情勢での発言とは別に、頻発する異常気象の原因である地球温暖化問題に、「温暖化などしてはいない。寒いぐらいだ!」と言い放ったとか。どちらの国の指導者にも大変な危うさを感じるのは、私だけではないでしょう。ミサイルには無力でも、温暖化対策の方では、我々にも出来ることはあります。例えば一枚余計に羽織って、暖房の温度を一目盛り下げることぐらいは。

(丸山 勇太郎)

### 議会報調査編集特別委員会

- |      |         |
|------|---------|
| 議長   | 北澤 慎二 郎 |
| 委員長  | 伊藤 まゆみ  |
| 副委員長 | 田中 麻乃   |
| 委員   | 丸山 勇太郎  |
| 委員   | 太田 正治   |
| 委員   | 加藤 亮輔   |
| 委員   | 田中 榮一   |
| 委員   | 津滝 俊幸   |

白馬議会だより 122号  
平成29年10月31日発行

発行 長野県白馬村議会  
編集 議会報調査編集特別委員会  
印刷 PO印刷(株)

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村  
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001  
http://www.vill.hakuba.jp/assembly/assembly.html E-mail:ghkai@vill.hakuba.jp